

みずほCustomer Desk Report 2025/04/14号(As of 2025/04/11)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

| | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY | 公示仲値 | 143.50 |
|-------------|-----------|------------|----------------|---------|---------------|
| TKY 9:00AM | 143.77 | 1.1257 | 161.76 | GBP/USD | 1.2994 |
| SYD-NY High | 144.52 | 1.1474 | 163.15 | AUD/USD | 0.6222 |
| SYD-NY Low | 142.05 | 1.1203 | 161.35 | | 0.6301 |
| NY 5:00 PM | 143.54 | 1.1363 | 163.00 | | 0.6181 |
| | 終値 | (前日比) | | 終値 | (前日比) |
| NY DOW | 40,212.71 | 619.05 | 日本2年債 | 0.6100% | ▲0.0600% |
| NASDAQ | 16,724.46 | 337.15 | 日本10年債 | 1.3400% | ▲0.0300% |
| S&P | 5,363.36 | 95.31 | 米国2年債 | 3.9715% | 0.1126% |
| 日経平均 | 33,585.58 | ▲ 1,023.42 | 米国5年債 | 4.1677% | 0.0979% |
| TOPIX | 2,466.91 | ▲ 72.49 | 米国10年債 | 4.4955% | 0.0716% |
| シカゴ日経先物 | 33,815.00 | 285.00 | 独10年債 | 2.5270% | ▲0.0545% |
| ロンドンFT | 7,964.18 | 50.93 | 英10年債 | 4.7525% | 0.1065% |
| DAX | 20,374.10 | ▲ 188.63 | 豪10年債 | 4.3640% | 0.1050% |
| ハンセン指数 | 20,914.69 | 232.91 | USDJPY 1M Vol | 15.19% | 1.22% |
| 上海総合 | 3,238.23 | 14.59 | USDJPY 3M Vol | 13.21% | 0.30% |
| NY金 | 3,244.60 | 67.10 | USDJPY 6M Vol | 12.03% | 0.03% |
| WTI | 61.50 | 1.43 | USDJPY 1M 25RR | ▲3.43% | Yen Call Over |
| CRB指数 | 290.42 | 5.29 | EURJPY 3M Vol | 11.62% | ▲0.37% |
| ドルインデックス | 100.10 | ▲ 0.77 | EURJPY 6M Vol | 11.01% | ▲0.59% |

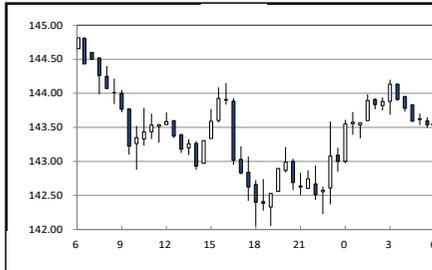
【昨日の指標等】

| Date | Time | Event | 結果 | 予想 |
|-------|-------|-----------------------|---------------------------|------------|
| 4月11日 | 15:00 | 英 鉱工業生産(前月比/前年比) | 2月 1.5%/0.1% | 0.1%/-2.3% |
| | 15:00 | 英 製造業生産(前月比/前年比) | 2月 2.2%/0.3% | 0.2%/-2.2% |
| | 21:00 | 米 カシユカリ・ミネアポリス連銀総裁 講演 | FRBにできることはインフレ期待の安定のみ | |
| | 21:30 | 米 PPI(前月比/前年比) | 3月 -0.4%/2.7% | 0.2%/3.3% |
| | 23:00 | 米 ミシガン大学消費者マインド・速報 | 4月 50.8 | 53.8 |
| 4月12日 | 00:00 | 米 ウィリアムズ・NY連銀総裁 講演 | 関税の影響で今年のインフレ率は3.5~4%に上昇へ | |

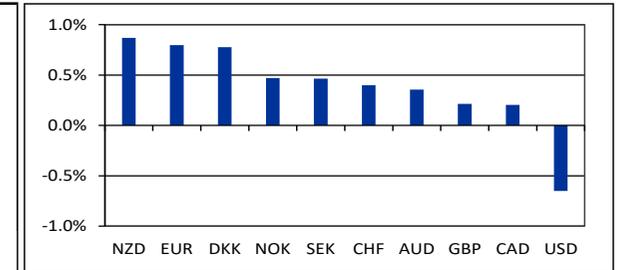
【本日の予定】

| Date | Time | Event | 予想 | 前回 |
|-------|-------|---------------------|-------------|-----------|
| 4月14日 | 13:30 | 日 鉱工業生産(前月比/前年比)・確報 | 2月 - | 2.5%/0.3% |
| | | 中 貿易収支 | 3月 \$74.40b | \$31.72b |
| | | 中 輸出(前年比) | 3月 4.6% | -3.0% |
| | | 中 輸入(前年比) | 3月 -2.1% | 1.5% |

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

| 通貨ペア | USD/JPY | EUR/USD | EUR/JPY |
|-------|---------------|---------------|---------------|
| 想定レンジ | 142.00-145.00 | 1.1250-1.1350 | 160.00-164.00 |

【マーケットインプレッション】

先週金曜日のドル円は市場でのリスク回避ムードが継続、昨年9月以来の水準である142.05円まで下落し、年初来安値を更新する展開となった。米中による相互関税の応酬が激化し、特に中国で組み立てたスマートフォンの大幅な値上がり懸念されていた中、トランプ米大統領は11日夜、相互関税の対象からスマートフォンなどを除外することを発表。しかし昨日13日には米政府高官より、スマートフォンも含め半導体関連に焦点を絞った新たな分野別関税を1-2か月後に打ち出す可能性が示された。詳細は本日正式に発表される見通しであるが、米国経済に多大な影響を及ぼすものについては都度軌道修正していることから、今後も発動内容は流動的となろう。本日についても関税交渉のヘッドラインによっては振れ幅は大きくなりやすく、警戒したい。

| | |
|--------|---|
| 東京 | 東京時間のドル円は143.77レベルでオープン。米国市場におけるトリプル安の流れを引き継ぎ、取引開始直後からドルが売り込まれる展開。米中対立激化による世界経済の先行き不透明感からドル売りが続き、ドル円は24年9月以来の143円を割りこんだ。その後は144円付近までアウインドし、143.93レベルで海外時間に渡った。 |
| ロンドン | 世界的なドル売りが対ユーロ中心に継続。そのような中、中国が対米報復関税を発表すると同時にドル売りが進む。142.05まで売られ142.61レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.1258レベルでオープン。2022年以来の1.1474まで一気に買われる。その後もみ合い1.1328レベルでNYに渡った。 |
| ニューヨーク | NY市場のドル円は、朝方に発表された米3月PPIが予想を下回り、142.23まで値を下げる。しかし、その後に発表された米4月シカゴ大学1年先の期待インフレ率が予想を上回った事を受け、143.50付近まで反発。午後は米株が上昇幅を拡大する動きに伴い円売りが強まり、144.20まで上値を伸ばす。その後は伸び悩み、143.60付近まで反落し、143.54レベルでクロス。一方、NY市場のユーロドルは、米金利の上昇に伴ったドル買いが重しとなり、1.1277までじり安で推移。午後は週末を控える中、1.1360付近まで反発し、1.1363レベルでクロス。 |

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。